横浜型地域貢献企業として

石井造園㈱は平成20年に横浜型地域貢献企業の認定を受け、平成22年に更新審査を受け再び最上級の認定を頂き1年が経ちました。この1年を振り返り、また次回更新に向けての弊社の取り組みを内部のシステム・外部での活動を内外両方の視点からご紹介します。また弊社ホームページ（http://www.ishii-zouen.co.jp）でもご紹介しておりますので併せてご覧ください。

社会貢献に関する取り組み

平成22年3月末まで横浜市環境創造局が推進していた150万本植樹行動に賛同し、活動が終了するまでに目標の1500本を配布する事ができました。しかし、弊社では横浜市の推進が終了した後も活動を継続していこうと考え、CSR方針にある緑を扱う者として地球環境の改善に貢献するということで、自社で受注した工事に関するイベント内や他社と共催したイベントで地域の方に苗木を配布しました。

3年間で1000本を配布していこうと目標を立て、今年度は200本配布致しました。

◇

去年に引き続き中学生の職業体験を含むインターンシップの受け入れをしました。

中学生は弊社が緑地管理をしている現場に一緒に行き、芝生広場の除草作業や、低木の植込みの刈込作業等をしました。

また、社会に出ることにちょっと抵抗があったり、昔ひきこもっていて、今は一歩踏み出そうと頑張っている人を支援する「若者自立塾」を行う株式会社K2インターナショナルさんから雇用を目的としたインターンシップを受け入れて社会に復帰できるように現場作業を一緒にしました。その結果平成23年6月現在、2人がアルバイトとして我々と一緒に現場で汗を流しています。

さらに今年はNPO法人ETICさんと協力し、大学生のインターンシップも受け入れ、今年2月から半年間に渡り、弊社で壁面緑化について研究し、たまに現場に出ております。地元中学校の職業体験を受け入れるなど、石井造園では社会に少しでも人を育ててお返しできるようにと考え取り組んでおります。

◇

東日本大震災翌日に長野県栄村も大きな地震で被災しました。この栄村は栄区と同じ「栄」がつくことが縁で、行政や民間が10年以上交流を続けてきた間柄でもあり何か力になれればと、現地に義援金と支援物資を届けに行ってきました。

22年度は子供達との活動や地域の輪の中に入って活動するなど、多く実りのある1年間だったと感じています。

環境に対する取り組み

	2010年9月	2010年10月	2010年11月	2010年12月	2011年1月	2011年2月
CO2排出量(g)	3,713,385	3,167,548	3,286,897	3,337,885	3,987,562	4,581,616
ガソリン使用量(ℓ)	958	774	864	755	868	934
軽油使用量(ℓ)	379	386	718	427	554	942
BDF使用量(ℓ)(CO2排出量0です)	0	0	200	0	0	200
水道水使用量(㎥)	42(8・9月)		31(10・11月)		25(12・1月)	
電気使用量(kw)	1,352	1,934	1,224	1,331	1,466	1,361

石井造園は環境問題にも取り組んでいます。CSR方針に「緑を扱う者として、地球環境の改善に貢献します」を掲げ、事務所内の蛍光灯はLEDを導入しています。

また、ホームページには月ごとに水道水と電気の使用量、ガソリン、軽油の使用量（バイオディーゼルは除く）、CO2の排出量を掲示し、情報を公開すると同時に、自社内でも傾向と対策を考える為の資料としています。

さらに栄区で行っている「さかえグリーンサポーター」に登録しました。この「さかえグリーンサポーター」とは企業や学校が登録をし、栄区内の市民の森愛護会や公園愛護会が自主活動として行っている緑地の運営活動にボランティアとして参加するというものです。別項にある「荒井沢市民の森自然観察会」を受けて登録し、今年度も何か市民森愛護会などと協力してボランティアできるように、企画・検討しています。

情報公開に対する取り組み

弊社ではホームページを公開しています。（http://www.ishii-zouen.co.jp）この中には会社概要はもちろんスタッフの紹介や弊社で行った工事の施工例、社員によるブログも公開し、普段あまりなじみの無い、造園屋の仕事や道具等の情報も公開しています。ホームページ内には実際にお客様から頂戴した顧客アンケートも掲載し、お客様の目線から石井造園の仕事ぶりを感じていただけるようになっています。

コンプライアンスと個人情報保護に関する取り組み

㈳横浜市造園協会や建設業災害防止協会からの情報を意欲的に入手し、無知による法に抵触することを避けるように周知徹底しています。

CSR方針にてコンプライアンスをうたい、関連の法令や、その他改正に対応できる仕組みを構築し、運用しています。個人情報保護に関する規定を策定し運用しています。（コンプライアンス＝法令遵守）

労働条件に関する取り組み

石井造園では就業規則も充実させています。育児・介護を行う従業員の時間外労働を一定時間以上しないように取り決めています。

また、社会貢献活動及び趣味に関する休暇を有給休暇とは別に取得できる制度を設けました。以前は60歳を定年と定めていましたが、60歳以降は毎年本人と相談し体調を踏まえたうえで最高65歳まで働くことが可能になりました。

そもそも… CSRと横浜型地域貢献企業って？

CSRとは？

企業の社会的責任（Corporate Social Responsibility）は企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任を持ち、あらゆるステークホルダー（利害関係者・消費者・投資家等・社会全体）からの要求に対して適切な意思決定をすることをいいます。

はっきりと定義することは難しいですが、要するに企業の活動に関して社会等の対象者に説明責任があり、はっきりと説明できないと社会からの信頼を得られなくなり企業自体も続かないということです。

横浜型地域貢献企業とは？

「信頼」と「ネットワーク」で結ばれる豊かな市民生活の実現を目標に、本業・その他の活動を通じ、地域貢献の視点で雇用や環境などの事業活動に取り組んでいる企業や事業体を、一定の基準（地域志向CSRマネジメント・システム規格）のもとに「横浜型地域貢献企業」として認定し、その成長・発展を支援する事業です。

「横浜型地域貢献企業」はコンプライアンス（法令遵守）を最重要に挙げていますが、地域貢献にも大きく目を向けています（㈶横浜企業経営支援財団より）

弊社は「この地域に活かされている」という想いから地域に対する活動により力を入れております。

1500プラス1からのスタート

前年の報告書にも記載しました苗木配布を今年も行いました。

今までと違うのは、石井造園単独で行っていることです。前年までは横浜市環境創造局の「150万本植樹行動」という事業に協力して、「1500本の苗木配布」を目標にし、実際1550本の苗木を配布しました。

横浜市の事業は22年3月で終了してしまいましたが、弊社ではこの活動を継続していこうと考え、22年4月からの3年間で「1000本の苗木配布」を目標に、配布を行っていくことにしました。

今年度は、弊社の受注した公共工事「笠間町第二公園ほか2公園施設改良工事」内の「いの山東公園」にてどんど焼きが行われる際に、工事着工のお知らせでお邪魔し、サツキツツジを200株配布させて頂きました。

3年間で1000本の目標で、200株ですと若干スタートが鈍い感じもしますので、次年度は配布回数を増やしたいと思っています。今後皆さまの地域にお邪魔するかもしれません。その際はぜひ横浜に1つの緑を植えてあげてください。

本郷台の駅前に温かい灯りを

「キャンドルナイト」をご存知でしょうか？日本では2003年6月に「100万人のキャンドルナイト」として始まり、夏至と冬至の夜8時～10時の2時間、電気を消してキャンドル（ろうそく）を灯して過ごそうという活動で、各地で様々なイベントが行われています。

ここ栄区でも5年前から行われており、本郷台駅前をろうそくで優しく灯しています。栄区はボランティア団体のさかえスローキャンドルプロジェクトさんが運営しており、石井造園も去年のキャンドルナイトinさかえに参加しました。

当日は本郷ふじやま公園愛護会、雑木林ファンクラブ、上郷森の会の方々と石井造園を含めた4団体が出展していました。

石井造園のブースでは現場で発生した伐採材のうち、竹は竹灯篭として使い、幹や枝などはコースターにし、当日現地で行った緑化基金に募金頂いた方に差し上げました。電気を消す＝省エネだけでなく、ろうそくの灯りに照らされてゆっくりと流れる時間を感じるのもいいものです。

ついでに、無理なく、達成感のある活動

生ゴミが堆肥に
子供達と土づくり

栄区笠間にある総菜屋「たくたか」さんと協力して子供達と土を作りました。惣菜を作る際に出る生ゴミを生ゴミ処理機にかけ、堆肥（土を植物が育ちやすいように改良するための土壌改良材）が出来上がります。その堆肥と土を撹拌させました。

1週間後に発酵して温度が上がった土を子供達と観察し、さらに1週間後にその堆肥と混ぜた土を使い、子供達が実際に花を植えました。

この活動で生ゴミのような廃棄物でも再利用する事ができること、生まれ変わった堆肥を土に混ぜると発酵するということ、そして実際に自分で植物を植えるということを体験してもらい、子供達もいろいろと感じとってくれたのではないかと思います。

ちょうど夏休み期間中に行ったので自由研究の宿題もみんなクリアしたんじゃないかな～。

小学生と荒井沢市民の森で観察会

弊社が22年度に受注した「荒井沢市民の森ほか5か所樹林地保全管理業務委託」において、地元の公田小学校5年生の児童と自然観察会を行いました。観察会は、森の中に生息している生物を見つけ、人体に有害な毒を持っている植物を直接見ることで、「自然に触れ合う事」に楽しさを感じ、身近にこういう場所があるということを知ってもらいたいと、計画いたしました。

事前に石井造園が作成した市民の森の地図や観察会の時期に生育している植物リスト等の資料を配布し、児童が当日までに植物の特徴などを予習して観察会に臨みました。

当日は、ブッドレアやガマズミ、ツリフネソウなどを発見し、地図に発見した個所を入れて、散策後に答え合わせをしました。答え合わせの後、みんなに「荒井沢市民の森探検隊認定証」を渡し、荒井沢市民の森探検隊に認定しました。